



常陸太田市

議会だより

No. 154
平成30年11月26日

HITACHIOTA

発行 常陸太田市議会
常陸太田市金井町3690番地

●責任者 議長 成井 小太郎
●電話 0294(72)3111(代)

●編集 広報委員会
FAX 0294(73)1119



山吹運動公園親水広場内にある「じょうづるはうす」は、子どもたちの遊び場や子育て仲間の交流の場として人気の施設です。

■ 平成30年 第3回臨時会・第4回定例会 開催 ■

主な内容

正副議長就任あいさつ	2	一般質問・トピックス	11
常任委員会の構成	3	常任委員会審査	12～13
議案賛否一覧	4～5	決算特別委員会	13
議案質疑	6	議会日誌・議会運営委員会・	
一般質問	7～11	編集後記	14

市議会ホームページ：<http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/page/page000564.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/hitachiota.shigikai>

市議会
ホームページ



市議会
フェイスブック



第3回臨時会で新議長・副議長が決定

第3回臨時会（8月21日）において、議長・副議長の選挙が行われ投票の結果、議長に成井小太郎氏、副議長に高星勝幸氏が当選しました。



副議長 高星 勝幸

【略歴】

総務委員会委員長
産業建設委員会委員長
予算特別委員会委員長
決算特別委員会委員長
市議5期(旧里美村議1期)



議長 成井小太郎

【略歴】

常陸太田市議会副議長
議会運営委員会委員長
決算特別委員会委員長
市議5期(旧金砂郷町議2期)

正副議長就任あいさつ

このたび、議員各位のご推挙を賜り、市議会議長の要職に就くことになりました。誠に身に余る光栄でありますとともに、その責任の重大さを痛感しているところでございます。

ご承知のように、少子・高齢化や過疎化など地方自治体を取り巻くさまざまな課題の中で、常陸太田市においては、第6次総合計画に基づき、まちづくりが進められているところであります。

このような中で、議決機関としての役割を果たすとともに、議会の一層の活性化を図るため、議員一同精一杯の努力をいたす所存であります。

今後とも、市民の皆様には、市議会への深いご理解と市政に対するご支援、ご協力をお願い申し上げ、議長就任のあいさついたします。

このたび、議員各位のご推挙を賜り、市議会副議長の要職に就くことになりました。誠に身に余る光栄であります。

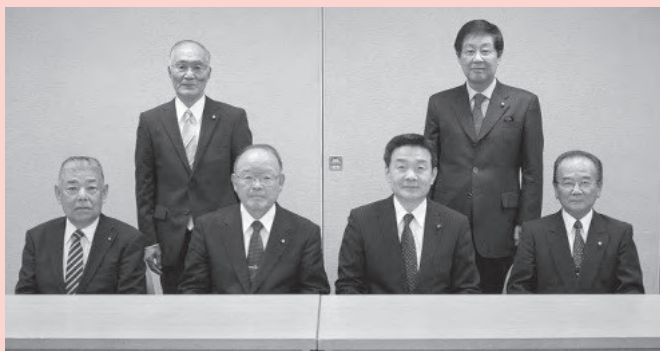
申すまでもなく、議会は、市行政の重要な事項を決定する機関であり、その職責は、きわめて重大であることを痛感いたしており、円滑なる議会運営をはじめ、常陸太田市の発展と市民福祉の向上を図るため、議長を補佐し、精一杯の努力をいたす所存であります。

今後とも、市民の皆様には、市議会へのご理解と市政に対するより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。副議長就任のあいさついたします。

常任委員会の委員が決まりました

臨時会において、各常任委員等が選任されました。常陸太田市議会では、市の事業部門を3つに分けて所管の常任委員会が専門的に審査を行い、その結果を本会議における決定に役立てています。

総務委員会



総務委員会は6名で、政策推進室、総務部、企画部、出納室、消防本部、各支所の総務関係事務、他の委員会の所管に属さない事項についての審査を行います。

委員長	菊池	伸也
副委員長	深谷	渉
委員	後藤	守
委員	茅根	猛
委員	高星	勝幸
委員	平山	晶邦

文教民生委員会



文教民生委員会は6名で、市民生活部、保健福祉部、教育委員会に属する事項についての審査を行います。

委員長	川又	照雄
副委員長	諏訪	一則
委員	宇野	隆子
委員	高木	将
委員	深谷	秀峰
委員	小室	信隆

産業建設委員会



産業建設委員会は6名で、農政部、商工観光部、建設部、上下水道部、農業委員会に属する事項についての審査を行います。

委員長	藤田	謙二
副委員長	菊池	勝美
委員	黒沢	義久
委員	成井	小太郎
委員	益子	慎哉
委員	森山	一政

※議会運営委員会及び広報委員会は14ページに掲載

第3回臨時会・第4回定例会

提案理由説明（要旨）



大久保 太一 市長

第3回臨時会（8月21日）の提出議案は、監査委員の選任1件であります。

第4回定例会（9月3日～19日）の提出議案は、平成29年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告が各1件、条例の制定が2件、条例の一部改正が1件、公の施設に係る指定管理者の指定が2件、市道路線の廃止、変更並びに認定が各1件、平成29年度歳入歳出決算認定が10件、平成30年度補正予算が7件、合わせて27件であります。

平成30年度一般会計補正予算は、人事異動等に伴

う人件費の補正のほか、「地方財政法」に基づく歳計剰余金の積み立て、山吹運動公園の親水広場休憩所並びに西山研修所の指定管理移行に伴う委託費、すいふ認定こども園整備に係る外構工事費、イノシシの被害対策に対する補助金、インバウンド受け入れ拡大に係る委託費、国体開催に向けた山吹運動公園駐車場の整備費などの経費を追加したところであります。なお、会期中に人事案件1件を追加提案する予定です。

第3回臨時会・第4回定例会 議案賛否一覧

△全員賛成で可決した議案▽

議 案 名		付託委員会		議決結果	
《第3回臨時会》					
議案第53号	常陸太田市監査委員の選任について	本会議	原案同意		
《第4回定例会》					
報告第10号	平成29年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	本会議	報告		
報告第11号	平成29年度決算に基づく資金不足比率の報告について	本会議	報告		
議案第53号	常陸太田市再生可能エネルギー発電設備の適正な設置と地域環境の保全に関する条例の制定について	文民	原案可決		

議案第54号	常陸太田市固定資産税の課税免除に関する条例及び常陸太田市企業等立地促進条例の特例を定める条例の制定について	産建	原案可決
議案第55号	常陸太田市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について	文民	原案可決
議案第56号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	文民	原案可決
議案第57号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	文民	原案可決
議案第58号	常陸太田市道路線の廃止について	産建	原案可決
議案第59号	常陸太田市道路線の変更について	産建	原案可決
議案第60号	常陸太田市道路線の認定について	産建	原案可決

△賛否の分かれた議案▽

議案第65号	平成29年度常陸太田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定
議案第66号	平成29年度常陸太田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定
議案第67号	平成29年度常陸太田市戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定
議案第68号	平成29年度常陸太田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定
議案第69号	平成29年度常陸太田市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	決算特別	原案可決
議案第71号	平成30年度常陸太田市一般会計補正予算（第4号）について	総務	原案可決
議案第72号	平成30年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	文民	原案可決
議案第73号	平成30年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	文民	原案可決

議案第74号	平成30年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	文民	原案可決
議案第75号	平成30年度常陸太田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について	産建	原案可決
議案第76号	平成30年度常陸太田市戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計補正予算（第1号）について	産建	原案可決
議案第77号	平成30年度常陸太田市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について	産建	原案可決
議案第78号	常陸太田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	本会議	原案同意
議員派遣について			原案可決
所管事務調査及び閉会中の継続調査について			原案可決

議案名	付託委員会	審査結果															議決結果
議案第61号	平成29年度常陸太田市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
議案第62号	平成29年度常陸太田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
議案第63号	平成29年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
議案第64号	平成29年度常陸太田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	原案認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
議案第70号	平成29年度常陸太田市工業用水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	決算特別	原案可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

【○：賛成 ×：反対】
 ※議長の表決権：過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決可否決が決定することができる採決権が認められています。

議 案 質 疑

(第4回定例会)

問 議案第53号 常陸太田市再生可能エネルギー発電設備の適正な設置と地域環境の保全に関する条例の制定で再生可能エネルギー発電設備の申請等に係る手数料について伺いたい。

答 市民生活部長 この条例は、本市の恵まれた自然環境の保全と良好な居住環境の維持を目的に制定するもので、先に制定した県内外の自治体の条例を参考にした。

また、許可申請等に係る手数料の設定根拠については、多くの申請により職員が現地確認等を行うなどにより事務処理量が多く見込まれるため、手数料の納付を求めるものである。手数料を課す他の自治体の状況を見ると都市計画条例における開発許可に係る手数料を引用し、最高で48万円と高額な許可申請手数料を課す自治体もあるが、本市の手数料については、条例の趣旨・目的等が類似している常陸太田市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の手数料を参考に制定した。



問 議案第57号 常陸太田市公の施設（西山研修所）に係る指定管理者の指定について日本スポーツ振興協会を選定した理由について伺いたい。

答 総務部長 指定管理者の選定については、指定管理者選定委員会において施設の利用者の平等な利用の確保や施設の効果、施設の管理を安定して行う人員・資産・その他経営の規模及び能力など5項目の審査基準を設け、5段階の評価を行い、各項目の評価に基づいた総合得点の結果等を踏まえ選定を行っている。

今回、日本スポーツ振興協会を高く評価した点については、現在、つくば市や笠間市など県内13施設の指定管理を行っている点、また西山研修所と類似施設の県西生涯学習センター（筑西市）の指定管理を行っていることから事業展開による施設の利用促進と交流人口の拡大が十分に期待できるものと評価をした。



西山研修所の業務を日本スポーツ振興協会に選定された

問 議案第71号 平成30年度常陸太田市一般会計補正予算の山吹運動公園野球場の障害者席を設置するための改修内容及び工期について伺いたい。

答 教育部長 現在、山吹運動公園野球場に障害者専用観客席が設置されていないため1塁側ベンチ脇の芝生席の一部を改修し、車椅子のまま入退場ができるバリアフリー観客席を整備するものである。

改修の内容については、芝生席の土を除去し、床面をコンクリート舗装とし、外側から出入り口を設け、さらに、ファウルボール対策として、観客席を囲う防球柵を設置し、観客席部分の面積は約40平方メートルを確保し、10台ほどの車椅子が入れるスペースとなる。工期については、来年3月完成の予定である。



問 議案第71号 平成30年度常陸太田市一般会計補正予算の企業紹介用パンフレット作成委託料についてどのようにパンフレットを活用していくのか伺いたい。

答 商工観光部長 この事業は、市内企業の人材確保を主な目的とし、掲載を希望する企業のパンフレットを作成するものである。

内容としては、企業の紹介をはじめ、企業で働く社員のインタビュー記事等を掲載し、就職を控える若者が市内企業で働く自分を具体的にイメージできるように内容を考えている。今年度は、2千部を作成し、高校や成人式等において配布することで、市内企業の認知度を高め、人手不足が深刻となっている市内企業の人材確保の支援を図ってまいりたい。



一 般 質 問

平成30年第4回市議会定例会の一般質問は一問一答方式で行われ、9名の議員が登壇しました。（次ページから掲載）

※掲載内容は一般質問の一部を要約したものです。発言の詳細は12月中旬以降議会ホームページ・市図書館で公開する会議録をご覧ください。



川又 照雄
議員

問1 来年開催の茨城国体におけるおもてなし体制について伺いたい。

答1 企画部長 国体は、国内最大のスポーツの大会であり、全国から多くの方々が訪れることから本市をPRする絶好の機会である。心を込めた「おもてなし」で再度の来訪につながるよう、市民の皆様のご協力をいただき準備を進めている。

問1 交流人口の拡大に向けた「おもてなし」は
問2 かけ崩れ危険箇所の対策は

今年度については、当市において国体のリハール大会として「第70回全日本総合女子ソフトボール選手権大会」が開催される。

現在、各町会及び小・中学校の皆様との協力により「花いっぱい運動」に取り組んでおり、大会期間中は競技会場や主要道路にプランターを設置し花いっぱい環境でお待ちしております。小中学生に作成いただいた「応援のぼり旗」や「歓迎のぼり旗」の装飾を予定しております。

問2 かけ崩れ危険箇所の現状について伺いたい。

答2 建設部長 本市には傾斜地の勾配が30度以上で高低差が5メートル以上とした、いわゆる急傾斜地としての危険箇所が約380箇所ある。このうち一定の範囲内に人家が5件以上存在し、かつ「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき、県の調査により「急傾斜地崩壊危険区域」と指定し、対策工事を実施した箇所が14箇所となっている。



藤田 謙二
議員

問1 全国的に若者の政治離れや投票率の低下が懸念されているが、本市も同様の傾向となっているのか。また選挙に対する意識の啓蒙のためにも年代別投票率の公開を望むが、所見を伺いたい。

答1 総務部長 期日前投票者数とパソコンシステムを導入している9つの投票所の当日投票者数から算出した結果による投票率は、18歳が28%、19歳が

問1 年代別投票率の傾向及びその情報公開を
問2 気象庁が災害と認識していると発表した猛暑対策は

17%と11%の差があり、年代別では20代の投票率が19%と最も低く、国や県と同様の傾向となっている。また、これまでは選挙当日に期日前投票者数及び1時間おきの市全体の投票者数並びに投票率を、選挙後に各投票所の投票者数及び投票率を公開してきたが、次の選挙から若年層の投票率向上に繋げる意味でも、選挙後にデータを集計し、年代別の投票率についても公開してまいりたい。

問2 今までに経験したことのない連日の猛暑により、熱中症による市内の救急搬送状況や猛暑対策への市の対応について伺いたい。

答2 消防長 5月から8月期の熱中症または熱中症疑いと診断された救急搬送は57人で前年比約2.5倍、特に7月は前年比4.5倍となっている。傷病程度別では軽症が58%、中等症は42%で入院診療を要する中等症の割合が前年比2倍近くに増加している。

答2 保健福祉部長 気象庁が熱中症注意の呼びかけとして35℃以上になると予測される場合、高温注意情報を発表しており、その発表を受け防災行政無線による注意喚起をはじめ、市ホームページ、フェイスブック、ツイッターや健康教室等を活用して、予防対策の掲載や注意点等の講話を行うなど、熱中症予防の周知を行っている。今後も引き続き、熱中症への注意喚起に努めていく。

【藤田 謙二 議員 質問事項】

- 投票率の向上について
- 安心安全なまちづくりについて

【川又 照雄 議員 質問事項】

- 交流人口の拡大について
- 災害について



平山 晶邦
議員

問1

本市は高齢者や一人暮らしの方の世帯が多くなっている。高齢者や一人暮らしの方と話をすると、もしもの時にどうなってしまうのだろうという不安を持っている。また、20年前・10年前と比較すると現在の気象環境では大規模自然災害はどこでも起こり得る状況であり、私たちの周りの社会環境・自然環境の変化の中で、市の最大の使命は市民の生命財産を守るこ

問1

常備消防力の充実強化策について

とであり、そのためには災害対策の工費スパートである常備消防力の強化が必要である。本市は消防機関の職員定数を平成18年からこの12年間変えてなく、今後の常備消防力の充実強化策について伺いたい。

動として救急隊だけでは搬送が困難なケース及び重症と想定される救急事案などに、救急隊と消防隊が一緒に出動する件数470件、ドクターヘリ等の安全管理のための出動67件である。

答1 消防長 平成29年における本市の災害出動件数は、火災28件、救急2380件、交通事故等への救助27件、その他の出

消防職員の条例定数は、平成18年9月の改正後88人で、近隣の常陸大宮市の消防職員の条例定数は80人、那珂市は107人である。今後の常備消防力の強化については、

本市の人口減少、少子高齢化等の将来的な展望を見据えたうえで、現状の消防体制を維持しながら、総務省消防庁より示されている「市町村の消防の広域化に関する基本方針の一部改正」に伴い、県が今年度に改正する「県消防広域化推進計画」を踏まえ、市民の生命及び財産を火災等の災害から保護することを最優先し、常備消防力の充実強化を検討してまいりたい。

【平山 晶邦 議員 質問事項】

- 公共交通について
- 常備消防力について
- 水道事業の漏水対策について



小室 信隆
議員

問1

有害鳥獣に係る「捕獲隊」と「実施隊」の違いと当市の状況について伺いたい。

問1

実施隊と捕獲隊の違いと当市の状況は

鳥獣の捕獲・防護柵の設置といった実践的活動を担う組織として市町村の条例により設置される隊である。

また、捕獲隊の隊員は隊長が任命し全員が猟友会会員で構成することとされているが、実施隊の隊員は、市町村長が任命し猟友会会員のほか、市町村職員や農家などで構成することが法により規定されている。

捕獲隊も実施隊も有害鳥獣の捕獲などを行う実行部隊として組織される隊であるが、捕獲隊の隊員は、実施要領に基づき選任された隊員であるが、実施隊の隊員は、市町村の非常勤職員で、隊員の報酬や公務災害補償措置を条例で定める必要がある。

なお、県内24市町のうち16市町が捕獲隊、8市町が実施隊であるが、当市の捕獲隊の組織体制については、猟友会太田支部長が隊長となり、各地区に地区隊長を置き、

太田地区が14名、金砂郷地区並びに水府地区がそれぞれ15名、里美地区が20名、全64名の隊員となっている。引き続き、捕獲隊隊員の確保・増員に努め、有害鳥獣の捕獲に取り組むとともに、地域や農家等による被害防止対策を積極的に支援し、農作物等の被害の軽減に努めてまいりたい。

答1

農政部長 当市では、平成15年4月に鳥獣被害捕獲許可事務等実施要領を策定し、有害鳥獣捕獲実施者として「市有害鳥獣捕獲隊」を設置したところである。これに対し実施隊は、平成20年2月に施行された国の「鳥獣被害防止特別措置法」に基づき、

【小室 信隆 議員 質問事項】

- 有害鳥獣対策について



益子 慎哉 議員

問1

今年の7月の西日本豪雨では、いくつかのダムで増水に追い打ちをかけるように放水し、堤防の決壊が起こった。想定外の豪雨時に竜神ダムからの放水はどのように情報共有されているのか伺いたい。

答1

総務部長 通常時の放水は市をはじめ国土交通省や消防本部、警察署へ連絡する体制が確立されている。毎年1回、洪水

問2

竜神ダムからの放水は情報共有できているのか
地域コミュニティの設立状況と進まない要因は

問2

対応演習として流域住民に周知を行ったうえで、27箇所ある警報局のサイレンを鳴らして、放水に対する訓練を行っている。台風等で竜神ダムの水位上昇が予想される場合は、事前にダムの状況について、市に情報が入ることになっており、また、豪雨時に緊急に放水する必要となった場合には、ダムを管理する県常陸太田工事事務所長と市長との間のホットラインにより事前に情報提供が行われるようになってい

答2

市民生活部長 現在、3地区で準備会が設置され設立に向け進められている。また、太田地区においても有志団体の代

表者等で勉強会が開催され、設立に向けた取り組みが行われている。設立が進まない状況としては、設立にあたっては、地域内で十分な話し合いを行っていただき、地域の皆様のご理解・ご協力を得たうえで設立を基本としている。地域における活動状況や人口規模等事情がさまざまであり、地域内での合意形成に時間を要している。今後も引き続き丁寧な説明を行い推進を図っていく。



一則 議員 諏訪

問1

鯨ヶ丘の急傾斜施設の維持管理について伺いたい。

答1

建設部長 毎年6月の土砂災害防止月間中に、県常陸太田工事事務所と合同で点検・パトロールを行い、急傾斜地に設置された擁壁などの崩落防止施設やけや法面等の状況、避難場所・避難経路等の点検を行い、また、近隣住民に対し、異常があった場合の関係機関への連絡方法に

問2

安心安全なまちづくりについて
福祉避難所の確保について

答1

総務部長 鯨ヶ丘周辺地区には、土砂災害ハザードマップにおける土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域が21箇所指定されており、すべて急傾斜地の崩壊の危険がある箇所となっている。平成27年度作成の土砂災害ハザードマップ及び平成29年度発行の洪水ハザードマップに避難所の位置や名称などを掲載し

問2

災害発生時における福祉避難所の確保について伺いたい。

答2

保健福祉部長 災害時の避難生活において特に配慮を要する方々の福祉避難所として、特別養護老人ホーム5施設及び老人保健施設2施設と協定を締結している。福祉避難所までの避難の流れ

関係地区に全戸配布している。

としては、最寄りの指定避難所に避難していただき、そこで個々の要支援者のニーズや支援の程度に応じて、一般の指定避難所内の別室等に開設された福祉避難スペースに移動するかまたは、受け入れが確認された民間の指定避難所に移動する事となっている。

なお、受け入れ要請の際は、避難者ごとに、氏名、年齢、心身の状況、身元引受人等を示して民間の福祉避難所に依頼している。

【諏訪 一則 議員 質問事項】

- 安心安全のまちづくりについて
- 福祉避難所の確保について

【益子 慎哉 議員 質問事項】

- 集中豪雨の対応について
- 竜神カフェの状況について
- 地域コミュニティについて



菊池 伸也
議員

問1 観光行政の交流人口拡大の新たな取り組みは
問2 県道29号線棚谷町の狭隘部分きょうあいの改良は

問1 本市には、竜神大吊橋をはじめ西山荘やプラトールとみ、佐竹氏や徳川家に係わる神社仏閣などが多く残されている。今後、交流人口を拡大していくうえで、交流人口について伺いたい。

発行、観光客のレンタカー利用に対する助成、旅行会社と連携した着地型観光バスツアーの企画・催行、教育旅行における農家民泊の拡充等交流人口拡大を図ってきたところである。また、観光施設の整備では竜神カフェや水府観光物産センター2階テラスの拡張、ぬくもりの湯のリニューアルやかなざ笑楽校体育館にボルダリングウォールの設置など交流人口拡大に向け取り組んでおり、茨城空港からの外国人旅行者の誘致も図られるよう、外国人旅行者に向けた誘致プロモーションや受け入れ体制の整備を推進していく。

振興を図るうえで重要な役割を担っており、地域住民の生活を支えてきた道路でもある。

県では、平成12年度まで事業を進めたが、棚谷町地内において、拡幅を行うには一部に地すべり対策工事が必要な箇所が確認され、多額の事業費を要することから事業を休止している状況である。今後の見直しなどについて、県に要望・協議してまいりたいと考えている。

答1 商工観光部長 市では、県や市観光物産協会と連携を図り、これまで、バンジージャンプやカヌー等の誘致、団体旅行に対する助成やプレミアム旅行券の

問2 県道29号線の道路改良工事が、中断されたままになっている理由と今後どのような考えで進められるのか伺いたい。

答2 建設部長 県道29号線は、県北地域の産業や観光の

振興を図るうえで重要な役割を担っており、地域住民の生活を支えてきた道路でもある。



深谷 渉
議員

問1 選挙の開票時間を短縮し人件費の削減を求める
問2 がん患者の苦痛を軽減するケアの推進が必要

問1 7月の市議会議員一般選挙は、常陸大宮市と同時に行われたが、開票の確定時間が常陸大宮市より85分の開きがあった。人件費のことを考えるとこの開きは看過できない。その原因と対策について伺いたい。

械を常陸大宮市では2台導入しているが、本市では1台と、少し手間のかかる従来型の機械を併用していること。それに加え、猛暑の中で、空調設備のない開票所内の暑さによる湿気等が原因で、機械の紙詰まりが発生し、時間的ロスが生じたことではないかと考えている。

問2 がんとの共生を実現するため、患者の心に寄り添い治療と仕事の両立等、社会生活を送っていくうえで極めて重要なアピアランスケアの推進について伺いたい。

ポート事業（社会参加サポート事業）補助金を創設し、がんに関する電話相談や面接、がんに関する情報の提供、がん患者向けの補助事業を行っている。

答1 総務部長 常陸大宮市の開票開始時刻は、本市より30分早く始まっているので、その開きは55分である。時間を要した主な要因は、新型の投票用紙読取機

対策としては、新型読取機の追加導入や機械の不具合の発生防止に努めると共に、得票システムへの読込方法の見直しを行うなどにより開票作業の効率化を図っていく。

答2 保健福祉部長 県は今年度より、がん治療による外見変貌を補完する補整具の購入費用を助成し、心理的負担の軽減と、就労等社会参加を促進し、療養生活の質の向上を図ることを目的として「いばらきがん患者トータルサ

本市においても県の事業を広く周知していくとともに国や県の制度を踏まえ、近隣市町村などの情報を収集し、取り組みについて検討していく。

【深谷 渉 議員 質問事項】

- 選挙の開票について
- 自転車の運転マナーについて
- 風疹対策について
- 学校のICT環境整備について
- がん患者に対するアピアランスケアについて

【菊池 伸也 議員 質問事項】

- 産業振興について
- 暮らしやすい居住環境の整備について

議会トピックス

西小沢小の児童が 議場を見学

10月3日、西小沢小の3年生の皆さんが市役所見学のため市議会を訪れました。本会議場を見学し、議会の仕組みや役割について説明を受けると熱心にメモを取り、元気よく質問する姿が見られました。



議場での集合写真

市議会公式 Facebook ページのご案内

より多くの皆様に市議会の活動をわかりやすくお伝えし、興味を持っていただくため、常陸太田市議会公式 Facebook（フェイスブック）ページを開設しています。

市議会の活動やお知らせを中心に掲載していきますので、市民の皆様をはじめ、多くの方々の「いいね！」をお待ちしています！

QRコード対応のスマートフォンからは、下のQRコードを読み取って簡単にアクセスできます。

→市議会フェイスブック
QRコードはこちらへ



宇野 隆子
議員

問1

東海第二原発は「被災した老朽原発であり、30キロ圏内に約96万人が住んでおり実効性のある避難計画は不可能であること」などから、再稼働を認めないことを市長に求めてきた。「運転延長の認可」と「設備の詳細設計を記した工事計画の認可」を得なければ廃炉となる。認可後も県と東海村に加え、本市を含む周辺5市との間で事前了解を得る必要がある。市長は「再稼働の是非の判断は、多くの市民の声を伺う

問2

問1

「原発の再稼働は認めない」は市民の願い
学校へのエアコン設置は緊急、最優先すべき

機会を設けて反映できるようにする」「事前了解権は、原子力施設の新增設、変更等をする場合」と答弁されてきた。①再稼働の判断にあたって市民への説明・意見を聞く方法、計画は。②「新增設工事」への対応について伺いたい。

答1

市長 幅広い分野の市民から意見を聞く場を設けて、今年中に要項の制定や委員の選出を行っていききたい。「新增設

問2

今年は猛烈な暑さが続き、愛知県で小学1年生が学校で熱中症で亡くなるという痛ましい事故も起きた。文部科学省は望ましい教室温度の基準を「17℃以上28℃以下」に改定した。児童・

工事」については、稼働及び延長運転に該当するものとして、新たな協定により、実質的に6市村の事前了解が必要となったことから日本原電側としっかり協議を行っていききたい。

答2

教育長 学校施設整備計画の見直しを早急に行い、エアコン設置に係る整備の時期、内容、財源の確保等の検討を進め、設置に向け取り組んでいきたい。

生徒の命と健康を守り、適切な学習環境を整備するために、エアコン設置は緊急、最優先すべきである。小中学校へのエアコン設置を強く求めたい。

【宇野 隆子 議員 質問事項】

- 東海第二原発の再稼働中止について
- 熱中症対策について
- 国民健康保険について
- 災害対策の強化について

総務委員会

総務委員会では、補正予算1件の審査を行い、付託された1議案を全会一致で原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第71号 平成30年度常陸太田市一般会計補正予算（第4号）について

問 体育施設費の工事請負額が約1億2千万円の補正予算を計上しているが、本来であれば当初予算で計上すべきものと思うが理由を伺いたい。

答 体育施設費については、山吹運動公園野球場及び体育館前の駐車場の整備費であり、下水道接続工事や東日本大震災による市民プールの取り壊しなどさまざまな要素により駐車場に沈下が起こり、今回駐車場を整備するため補正予算を計上した。本来であれば当初予算で計上すべきものであるが、正確な測量調査等を行わないと工事が算出できないため、今回の措置となった。



山吹運動公園野球場・体育館前の駐車場を整備

問 地域介護・福祉空間整備推進事業の概要について伺いたい。

答 消防法改正により、今年の4月から要介護3以上の方の割合が定員の半数以上のグループホームやデイサービス施設に対し、スプリングラーの設置が義務付けられた。現在、市内のグループホームやデイサービスの19施設のうち18施設には既にスプリングラーが設置済みであるが、1施設のみが設置済みでないため、今回補正予算92万6千円を計上した。

問 被災者生活支援システムの負担金と開始日と効果について伺いたい。

答 被災者生活支援システムの負担金については、県と県内43市町村（常総市を除く）が共同で整備する「被災者生活再建支援システム」の負担金で250万9千円である。今回システムを整備することにより、万が一災害発生した場合、災害時応援協定により罹災証明書交付等の業務が電子化により事務処理の効率化や職員の作業負担を軽減できるメリットがあり、来年の4月に運用開始予定である。

【委員会構成】

委員長 菊池 伸也	委員 茅根 猛
副委員長 深谷 渉	委員 高星 勝幸
委員 後藤 守	委員 平山 晶那

文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の制定1件、条例の一部改正1件、指定管理者の指定2件、補正予算3件、合計7件の審査を行い、付託された7議案を全会一致で原案決定すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第53号 常陸太田市再生可能エネルギー発電設備の適正な設置と地域環境の保全に関する条例の制定について

問 既に設置されている市内の再生可能エネルギー発電設備（太陽光発電・バイオマス発電）の設置件数について、発電出力ごとの内訳について伺いたい。

答 設置件数の内訳については、太陽光発電では10キロワット未満が697件、10キロワット以上が281件。バイオマス発電では1件で総計で979件である。



太陽光発電



宮の郷木質バイオマス発電所

議案第56号 常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について

問 常陸太田市子育て支援施設及び山吹運動公園親水広場の主な業務内容と開館日について伺いたい。

答 業務内容については、1点目は、施設の設置目的達成に必要な業務として、児童及び保護者の相互交流事業及び情報提供や助言、その他子育て支援事業。2点目は、施設の維持管理をする業務。3点目は、その他施設の管理に必要と認められている業務である。

開館日については、年末年始及び毎週月曜日の休館日以外を開館日としている。



子育て支援施設及び山吹運動公園親水広場の業務をNPO法人結に選定された

【委員会構成】

委員長 川又 照雄	委員 高木 将
副委員長 諏訪 一則	委員 深谷 秀峰
委員 宇野 隆子	委員 小室 信隆

【委員会構成】
委員長 藤田 謙二
副委員長 菊池 勝美
委員 成井小太郎
委員 黒沢 義久
委員 森山 一政



常陸太田市東部土地画整理事業計画地

常陸太田市東部土地画整理事業計画地に、立地予定の企業に対する特例措置を定めることにより、早期の企業誘致を促進し、本市の産業及び雇用の拡大を図ることを目的に制定されるものです。

【制定の内容】
議案第54号 常陸太田市固定資産税の課税免除に関する条例及び常陸太田市企業等立地促進条例の特例を定める条例の制定について

▼条例制定議案の内容

産業建設委員会では、条例の制定1件、市道の廃止・変更・認定各1件、補正予算3件、合計7件の審査を行い、付託された7件を全会一致により可決すべきものと決定した。

産業建設委員会

決算特別委員会を開催

ー 平成29年度一般会計・特別会計7件

企業会計2件を審査 ー

決算に関する議案第61号から議案第70号までを審査するため、決算特別委員会が9月7日に設置されました。議長と議会選出監査委員（前年度審査した議会選出監査委員も含む。）を除く15名の議員が委員に選任され、9月13日と14日の2日間にわたり、平成29年度の各会計決算について、一般会計については、歳入242億1239万7793円、歳出234億4916万9312円、歳入歳出差引額7億6322万8481円について審査いたしました。

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計については賛成多数により原案認定すべきものと決定。工業用水道会計については賛成多数により原案可決及び認定すべきものと決定。水道会計は全会一致により原案可決及び認定すべきものと決定。その他4会計については、全会一致により原案認定すべきものと決定しました。



委員長 菊池 伸也
副委員長 深谷 渉

ー 主な質疑内容 ー

問 ふるさと常陸太田寄附推進事業の減額理由及び市内の方が他市町村へ寄附している状況について

答 ふるさと納税の返戻品の品数を増やし広告等でPRを図ったが、目標の金額に到達しなかったので減額している。また、市内の方が他市町村へ寄附した件数は389件となっている。



問 健康・医療費データ分析委託料の実績について

答 平成29年度は、先進地職員を招致した講演会やリーダー育成としてグループワーク等を実施するなど、健康づくり関係団体とのレベルアップを図った。また、平成30年度は、健康レシピの作成、歯周病検診、節目年齢のピロリ菌検査、ポイント事業等について、各地域において健康教室を実施している。

問 農産物販路拡大事業の成果について

答 高速バスを活用し市内の農産物を首都圏に運ぶ貨客混載事業の平成29年度の実績は、全体で85回で取引先は5社である。この事業は、市内の新鮮な朝どれ野菜を首都圏（東京都中野区）に送り、知名度アップや市農産物の販路拡大を狙うもの。新聞等にも報道されたように、9月には、渋谷区・新宿区へ販路拡大のため新たに新宿バスターミナル「バスタ新宿」を使った実証実験を行っており、引き続き事業の推進を図っていく。



都内店舗に市内農産物が並ぶ

議会を傍聴 しませんか!!

傍聴される方は、市役所4階市議会議場前の傍聴受付で所定の用紙に住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券をお受け取りください。傍聴する際には注意事項をお守りください。

12月定例会会期日程（予定）

12月3日（月）午前10時 開会・議案説明
 5日（水）午前10時 一般質問
 6日（木）午前10時 一般質問
 7日（金）午前10時 議案質疑
 10日（月）午後1時 総務委員会
 11日（火）午後1時 文教民生委員会
 12日（水）午後1時 産業建設委員会
 14日（金）午前10時 採決・閉会

議会日誌

7月15日 議会運営委員会・広報委員会
 8月8日 全員協議会・議長経験者会議
 17日 全員協議会
 21日 第3回臨時会・議会運営委員会・全員協議会
 9月3日 本会議（開会・議案説明）・議会運営委員会
 5日 本会議（一般質問）
 6日 本会議（一般質問）・広報委員会
 7日 本会議（議案質疑）・文教民生委員会協議会・産業建設委員会協議会
 10日 総務委員会・総務委員会協議会
 11日 文教民生委員会・文教民生委員会協議会
 12日 産業建設委員会・産業建設委員会協議会
 13日 決算特別委員会
 14日 決算特別委員会・議会運営委員会・全員協議会・森林林業
 19日 本会議（採決・閉会）

議会運営委員会

第3回臨時会・第4回定例会の会期・日程等について

7月15日、第3回臨時会の会期及び日程、第4回定例会の会期について協議、本会議に諮ることとし、「ひたちおたお知らせ版」及び市内施設・各支所窓口へ掲示することとした。8月21日には第1日の日程、議案等付託委員会、一般質問・議案質疑の通告期限及び一般質問の方法・時間制限・決算特別委員会の設置について。9月3日は一般質問通告者について。14日には最終日の日程、人事案件、議員派遣について協議を行った。



議会運営委員会

委員長	深谷 渉	副委員長	深谷 秀峰
委員	後藤 守	委員	川又 照雄
〃	菊池 伸也	〃	益子 慎哉
〃	藤田 謙二		

編集後記

議会だより第154号では第3回臨時会・第4回定例会の主な内容を掲載いたしました。今議会から広報委員会のメンバー構成も変更に。今後は、市民の皆様に分かりやすく、読みやすく、親しまれる広報づくりに向けて取り組んでまいりますので、よろしく願います。

発行責任者
広報委員会

委員長 成井小太郎
 副委員長 高星 謙幸
 〃 〃 〃 〃
 〃 〃 〃 〃

菊池 勝一
 諏訪 美則
 深谷 渉
 川又 伸也
 藤田 照雄
 高星 謙幸
 成井小太郎



この議会だよりは再生紙を使用しています

議会だよりに関するご意見・ご感想をお寄せください。
 今後の本紙編集の参考とさせていただきます。

議会事務局 電話 0294 (72) 3111 E-mail gikaijimu2@city.hitachiota.lg.jp

議会事務局
メールアドレス

